

PRESS RELEASE

ガルダ・インドネシア航空 プレスリリース

2011 年 8 月 17 日

ガルダ・インドネシア航空

『がんばろう日本！Tetap Semangat Jepang！』プロジェクト 寄付実施のご報告

TYOGA-08-AUGUST /11

2011 年 8 月 17 日、ガルダ・インドネシア航空は、東日本大震災支援プロジェクト『がんばろう日本！Tetap Semangat Jepang！』の一環として、義援金 12,312,300 円をあしなが育英会へ寄付しましたことをご報告いたします。

インドネシア独立記念日にあたる 8 月 17 日、ガルダ・インドネシア航空 日本・韓国・中国・アメリカ地区総支配人、ファイク ファーミは、インドネシア大使館経済部長 ムハマド アバス リドワン氏と共に、あしなが育英会事務局長 吉田和彦氏を訪れプロジェクトの義援金及びお客様より寄せられた被災地の子どもたちへのメッセージカードを贈呈するとともに、今後も引き続き共に力を合わせ、将来を担う子どもたちを支援することを確認しました。

今回の義援金は、2011 年 4 月 1 日より 2011 年 6 月 30 日までのガルダ・インドネシア航空、日本発便にご搭乗いただいたお客様お一人様あたり 300 円の売り上げを義援金として算出しております。尚、発券オフィス及び空港のチェックインカウンターに設置させて頂いている募金箱につきましては年末まで設置させて頂き、後日改めて被災地の子どもたちへ届けさせて頂きます。『がんばろう日本！Tetap Semangat Jepang！』の詳細に関しましては、www.garuda-indonesia.co.jp/support-japan/ をご覧ください。

ガルダ・インドネシア航空は、2011 年 7 月 9 日・10 日に代々木公園イベント広場で開催された「インドネシア・フェスティバル 2011」でのチャリティー輪投げおよびオークションの総額 497,519 円の義援金を被災地の子どもたちへ届ける準備をしています。また、2011 年 8 月 20 日・21 日に行われる「江ノ島バリ・サンセット 2011」では、チャリティーダーツゲームを行い、参加費を義援金として主催者を通じ寄付する予定としています。

ガルダ・インドネシア航空は、1962 年の日本就航以来、日本とインドネシアの架け橋でありたいと願ってまいりました。今後も、より一層、日本とインドネシアの友好関係の築きとなりますよう取り組んでまいります。

【あしなが育英会】

1988 年発足。病気、災害などで親をなくした子どもたちや、親が重度後遺障害で働けない家庭の子どもたちを物心両面で支える民間非営利団体。奨学金など経済支援を行うとともに、教育と心のケアを行い、『「暖かい心」「広い視野」「行動力」「国際性」を兼ね備えた人類社会に貢献するボランティア精神に富んだ人材』を育成することを活動の目的とされています。詳細は、<http://www.ashinaga.org/> をご覧ください。



写真左：あしなが育英会 事務局長 吉田和彦氏

写真中央：ガルダ・インドネシア航空会社、日本・韓国・中国・アメリカ地区総支配人 ファイク ファーミ

写真右：インドネシア大使館 経済部長
ムハマド アバス リドワン氏

2011 年 8 月 17 日 あしなが育英会東京本部にて

<本リリースに関する問い合わせ>

ガルダ・インドネシア航空 マーケティング部 児玉・篠

【E-Mail】tyock@garuda-indonesia.co.jp

<報道関係者からのお問い合わせ先>

ガルダ・インドネシア航空 PR 事務局 與芝・高島(株式会社プラチナム内)

【E-Mail】garuda@vectorinc.co.jp 【電話】03-5572-6073

